



2024年5月21日

各位

会社名 クリングファーマ株式会社
住所 大阪府茨木市彩都あさぎ七丁目7番15号
彩都バイオインキュベータ207
代表者名 代表取締役社長 安達喜一
(コード番号: 4884 東証グロース)
問い合わせ先 取締役経営管理部長 村上浩一
TEL. 072-641-8739

HGFの日本における医薬品一般的名称決定のお知らせ

当社が開発する組換えヒト HGF タンパク質（以下「HGF」）の日本医薬品一般的名称（JAN: Japanese Accepted Names for Pharmaceuticals）が、以下の通り決定通知※されましたのでお知らせいたします。
※「医薬品の一般的名称について」（医薬薬審発 0521 第3号 令和6年5月21日）

JAN（日本名）：オレメペルミン アルファ（遺伝子組換え）
JAN（英名）：Oremepermin Alfa (Genetical Recombination)

JANは、命名基準に従い考案され、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品名称専門協議で決定されます。今回、HGFのJANが決定したことで、今後の国内での製造販売承認申請書類等、公式な場で本名称を使用することが可能になります。

当社は、オレメペルミン アルファ（遺伝子組換え）の開発を通じて、一日も早く世界の難病患者の皆さまに貢献できるよう、引き続き治療薬の研究・開発に全力で取り組んでまいります。

以上

HGF (Hepatocyte Growth Factor, 肝細胞増殖因子) について

HGFは、成熟肝細胞の増殖を促進する因子として発見された生理活性タンパク質であり、その後の研究から細胞増殖のみならず、細胞運動促進、抗細胞死、形態形成誘導、血管新生など様々な組織・臓器の再生と保護を担う多才な生理活性を有することが明らかにされました。

HGFは神経保護作用や軸索伸展作用も有し、神経難病とされる脊髄損傷に対する薬理効果は、慶應義塾大学医学部生理学教室 岡野栄之教授及び整形外科教室 中村雅也教授らのグループの研究により明らかにされています。新たな脊髄損傷治療薬として、HGFへの期待が高まっています。

他方、京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 平野滋教授らのグループは、HGFの抗線維化作用に着目し、線維化疾患である声帯癬痕に対する薬理効果を明らかにしました。HGFには、声帯癬痕を端緒として、他の線維化疾患への適応拡大の可能性が期待されています。

クリングルファーマ株式会社について <https://www.kringle-pharma.com/>

当社は「難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し、社会に貢献すること」を企業理念とし、希少疾病を対象にHGFタンパク質医薬品の自社開発を推進するバイオベンチャー企業です。

現在、HGFタンパク質医薬品のレイトステージの開発パイプラインでは、脊髄損傷急性期を対象とする開発が第Ⅲ相臨床試験を終了し、声帯癬痕を対象とする開発は第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

当社は、HGFタンパク質医薬品の社会実装を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。